

自動車会議所 ニュース

発行所



一般社団法人日本自動車会議所
Automobile Business Association of Japan

☎105-0012

東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館

電話：03(3578)3880

FAX：03(3578)3883

URL

<http://www.aba-j.or.jp>



2018 **11** No.910

発行人 中島 哲 編集人 田村里志
購読料 1部50円(購読料は年会費に含む)

全国47都道府県知事へ ユーザーの声を届ける活動が大詰めへ

自動車税などの負担軽減に向け、国会議員にも要望

自動車税制改革フォーラム

知事陳情第1弾の愛知県の大村秀章知事(左から4人目)に、フォーラムを代表し要望書を届ける愛知県自動車会議所の山口真史会長(大村知事の左)

自 動車関係21団体で構成する「自動車税制改革フォーラム」による全国の知事への税制要望活動が、大詰めを迎えようとしている。フォーラムでは、政府・与党による抜本改正の議論が行われる本年を「勝負の年」と位置づけ、自動車ユーザーの税負担軽減の実現に向け、7,800万ユーザーの声を全国47都道府県の知事に届ける理解・要望活動を10月初めから展開している。第1弾の大阪・愛知を皮切りに精力的に要望活動が行われ、平成31年度税制改正の議論が佳境に入る11月下旬には47都道府県全ての知事に届け終わる見通しだ。

知事への要望活動では、各都道府県のフォーラム団体が集めた地元ユーザーの「生の声」として、ユーザー自身がメッセージボードに意見や要望を書いた写真資料も届けており、全国から約6,000人分の「声」が集まっている。フォーラムでは、活動の集大成として、国会議員にも要望活動を行うことにしており、平成29年度大綱に記されている、自動車税などの保有課税の負担軽減をはじめ抜本見直しの実現につなげていくことにしている。

(関連記事は2、7ページに掲載)

◆◆主な内容◆◆

- 内山田会長が自民党税制調査会幹部を訪問……2
- フォーラムが税負担軽減を訴える「街頭活動」を全国展開……7
- 11/17、11/18に「交通安全。アクション2018 お台場」開催……3
- 東京都がディーゼル車を集中検査 [東京都]……8
- 交通安全ポスター原画コンテスト表彰式開催……5
- 「自動車なんでも無料相談所」を開設 [愛知県]……8
- 第99回全国自動車会議所専務理事会開催……7
- 「エコライフ車塾」2018を開催 [富山県]……9

(主な記事はホームページ=<http://www.aba-j.or.jp>にも掲載しています)

内山田会長が自民党税制調査会幹部を訪問

宮沢会長、甘利副会長、後藤幹事の3氏に 「自動車関係諸税の負担軽減・簡素化」要望

全国7,800万ユーザーの声として、「自動車税の引き下げ」と
「消費税引き上げ後のユーザー負担増回避」を強く訴える

日本自動車会議所

日 本自動車会議所の内山田竹志会長は11月7日、自民党税制調査会幹部を訪問し、「自動車関係諸税の負担軽減・簡素化」を求める要望活動を行った。訪問したのは、宮沢洋一税調会長（参議院議員）、甘利明税調副会長（衆議院議員）、後藤茂之税調幹事（同）の3氏。内山田会長は、全国7,800万ユーザーの声であるとして、「まず第1点目として、自動車税は国際的水準である現行の軽自動車税を基準に引き下げること。第2点目は、消費税引き上げ後の自動車ユーザーの税負担増を回避すること」を要望し、ユーザー負担軽減の実現を強く訴えた。

当会議所もメンバーである、日本自動車連盟（JAF）など自動車関係21団体から成る「自動車税制改革フォーラム」では、全国7,800万ユーザーの声を全国47都道府県知事に届ける理解・要望活動を展開しており、11月末までに全知事に届ける見通しだ。内山田会長は、こうした活動と連動して税調幹部を訪問。自動車ユーザーが課せられている9種類・8兆円、租税収入の1割近くを自動車ユーザーが負担する理不尽でクルマ偏重の税体系の見直しの実現に向けて、自動車ユーザーと自動車業界共通の要望である2点の実現を求



宮沢税調会長（右）に要望書を手渡す内山田会長



後藤税調幹事（左）に要望書を手渡す内山田会長



甘利税調副会長（左）に要望する内山田会長

めた。

12月中旬に予定されている税制改正大綱取りまとめに向けて、内山田会長は引き続き与党幹部に直接、要望活動を行っていく予定である。



日 本自動車会議所は11月17日(土)、18日(日)の両日、東京・江東区のパレットタウン内「メガウェブ」で、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる体験型交通安全啓発イベント「交通安全。アクション2018 お台場」を開催します。開催時間は17日、18日ともに11時～16時まで、入場・参加は無料です。

「交通安全。アクション」は、春と秋の年2回開催しており、春は全国交通安全運動期間中に、多くの人々が訪れるターミナル駅「新宿」で、秋は家族連れで賑わう東京・お台場で開催しています。「家族で広げよう交通安全」をテーマに、体験を通じて家族で交通安全のルールや安全行動の大切さを啓発するイベントとして定着しています。

昨年の交通事故死者数は3,694人で、警察庁が保有する昭和23年以降の統計で最少となるなど、交通事故死者数は減少傾向にあります。しかし、依然、高齢者の死者数が全体の半数を占めるなど、交通事故情勢は厳しい概況が続いています。このため、子どもから高齢者まで、交通安全について楽しく学んでいただけるステージやブースプログラムを用意して、より多くの皆さまに発信していきます。

「交通安全。アクション2018 お台場」は、国土



「交通安全。アクション2017 お台場」でも大人気だった白バイ搭乗体験

交通省、警察庁、警視庁交通部、東京都、江東区教育委員会が後援し、当会議所の会員団体はじめ開催の趣旨に賛同する官民合わせて49の参画団体・企業が一体となって実施します。趣向を凝らしたステージや16のブースプログラムに加え、ブースをまわってスタンプを5個以上集めた参加者に、協力団体・企業のノベルティー・グッズなどの景品をプレゼントする「スタンプラリー」も実施します。このほか、飲酒運転根絶を訴えるパネル展示コーナーなども設置します。

「交通安全。アクション 2018 お台場」開催概要

- 【日 時】 11月17日(土)、18日(日)
両日ともに11時00分～16時00分
- 【場 所】 パレットタウン内「メガウェブ」(東京都江東区青海1丁目)

プログラム概要 (カッコ内は出展団体・企業。順不同)

〈ステージプログラム〉

- ▽盲導犬ふれあい教室(日本盲導犬協会、全国盲導犬施設連合会) ▽交通安全クイズ(広報企画)
▽交通安全ビンゴ大会(同) ▽交通安全の歌：キャンパスクイーン(スペースクラフト)

〈ブースプログラム〉

- ▽ライディングシミュレータ&ゲンチャレ(日本二輪車普及安全協会) ▽おでかけばんだ・頭部保護帽(日本自動車研究所) ▽子ども安全免許証(日本自動車連盟) ▽俊敏性測定「あなたの俊敏性は何歳？」(イーティエフ) ▽てんけんくんぬりえ体験コーナー(日本自動車整備振興会連合会) ▽自動車運転適性診断「ナスバネット」(自動車事故対策機構) ▽首都高安全広報隊(首都高高速道路) ▽反射材体験(全日本交通安全協会) ▽オートバイ用胸部プロテクター(全国二輪車二輪車用品連合会) ▽盲導犬ふれあい広場(全国盲導犬施設連合会、日本盲導犬協会) ▽白バイ搭乗体験(警視庁、東京湾岸警察署) ▽歩行者シミュレータ/ハイパースムーズ東京(東京都青少年・治安対策本部) ▽お子様の命を守るチャイルドシート(日本自動車部品工業会) ▽物忘れチェック体験(全日本指定自動車教習所協会連合会、高齢者安全運転支援研究会) ▽交通安全約束手形(共同ブース) ▽飲酒疑似体験ウォーキング(共同ブース)

〈その他のプログラム〉

- ▽スタンプラリー ▽飲酒運転根絶訴求パネルコーナー(加害者の手記パネル展示、SDD賛同アーティストメッセージ展示等)

主催、後援および参画団体・企業一覧

[主催]

一般社団法人 日本自動車会議所

[後援]

国土交通省、警察庁、警視庁交通部、東京都、江東区教育委員会

[協賛]

「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」推進委員会

[協力] (順不同)

警視庁、警視庁東京湾岸警察署、東京都青少年・治安対策本部交通安全課、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車部品工業会、(一社)日本自動車車体工業会、(一社)日本自動車タイヤ協会、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、(一社)日本自動車整備振興会連合会、(公社)全日本トラック協会、(公社)全国通運連盟、(公社)日本バス協会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)全国自家用自動車協会、(一社)日本損害保険協会、(一社)全日本指定自動車教習所協会連合会、(一社)全国レンタカー協会、(一社)日本自動車リース協会連合会、(一財)全日本交通安全協会、(公財)日本自動車教育振興財団、(一社)日本二輪車普及安全協会、(一社)日本自動車運行管理協会、(一社)自動車用品小売業協会、(一財)日本自動車研究所、(一社)日本自動車連盟、全日本自動車産業労働組合総連合会、独立行政法人自動車事故対策機構、首都高速道路(株)、(一財)首都高速道路厚生会、(一社)日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会、電動車いす安全普及協会、(一社)東京都トラック協会、(一財)東京都交通安全協会、(一財)道路交通情報通信システムセンター、東京都自動車会議所、(公財)日本盲導犬協会、NPO法人 全国盲導犬施設連合会、(一社)全国二輪車用品連合会、イーティエフ(株)、NPO法人 高齢者安全運転支援研究会、(有)広報企画、(株)エフエム大阪、(株)アムラックストヨタ、スペースクラフト・エンタテインメント(株)、(株)ゆりかもめ、東京臨海高速鉄道(株) <計49団体・企業>

交通安全ポスター原画コンテスト 表彰式開催 日本自動車会館

応募108作品の中から4作品が入賞

最優秀賞は福岡県在住の荻野佳子さん



入賞作品の前で記念撮影をする(左から)戸田選考委員、原さん、高山さん、李さん、永塚選考委員長

日 本自動車会館（入館14法人）は10月17日、東京・港区の同会館「くるまプラザ」会議室で交通安全ポスター原画コンテストの表彰式を行った。同コンテストは社会貢献活動の一環として2007年から実施されており、12回目を迎える今回は、9月10日の締切日までに108作品の応募があった。全応募作品は同月11日から会館1階のエントランスホールに展示され、入館法人の職員や来館者などによる投票結果を基に、選考委員会（委員長：永塚誠一日本自動車工業会副会長）にて4作品が入賞作品に選ばれた。最優秀賞に輝いたのは、福岡県在住の荻野佳子さんの作品で、賞金10万円と賞状が贈られた。

表彰式は「交通安全」をテーマにした、当会議所の第252回会員研修会に先立って行われ、最優秀賞の荻野さんは欠席したが、入賞された李多顯さん、高山結さん、原優風さんの3人が出席。永塚委員長から受賞者に賞状と賞金が贈呈されると、出席者から大きな拍手を浴びていた。永塚委員長による賞状・賞金贈呈の後、選考委員会委員で日本美術アカデミー理事の戸田吉彦氏が講評を行い、次のように

述べた。

「第1回目からこのコンテストにかかわってきましたが、今回は特徴的な傾向が見て取れます。1つは、最優秀作も含め『高齢者の事故防止のためには運転を卒業する時がやって来る』というメッセージの作品が多数提出されてきたことです。昨年は、自動車メーカー側の事故防止対策である『サポカー』について非常に多くの応募がありましたが、今年は、ドライバー側から事故を減らしていくという視点を持った作品が最優秀作品に選ばれました。

2つ目が、優秀賞3作品がいずれも飲酒運転根絶をテーマにしていることです。エントランスに展示している飲酒関係のポスターをみると、多くが学生などの若い人たちの作品です。これから社会に出る若者たちの『飲酒運転はしてはいけないことだと肝に銘じなければならない』という気持ちの表れではないかと考えています」

この後、李さん、高山さん、原さんの3人が受賞の喜びや作品コンセプトを述べて表彰式が終了し、続いて交通安全をテーマとした第252回会員研修会が開催された



永塚選考委員長（右）から受賞者の皆さんに賞金と賞状が手渡された



表彰式でコンテストの講評をする戸田選考委員（日本美術アカデミー理事）

入賞作品

《最優秀賞》

福岡県 荻野 佳子さん
タイトル「私たち、運転卒業しました」



作品コンセプト…昨今、高齢者による交通事故が増加している中、高齢者に自分が運転を続けられるかどうかについて自己判断を促すとともに、運転を辞めることは決して何かを失うことではなく、新たな「トライフックライフ」の始まりだということ、伝えられたらと考えました。

《優秀賞》

東京デザイン専門学校 李多顯さん
タイトル「人生はおかわりできない」



作品コンセプト…おもちゃのクルマを使い、飲酒運転をして事故が起きてしまった現場をイメージしました。ポイントは、グラスからこぼれているビールを使うことによって、おかわりは安易にできないということを表現しました。

《優秀賞》

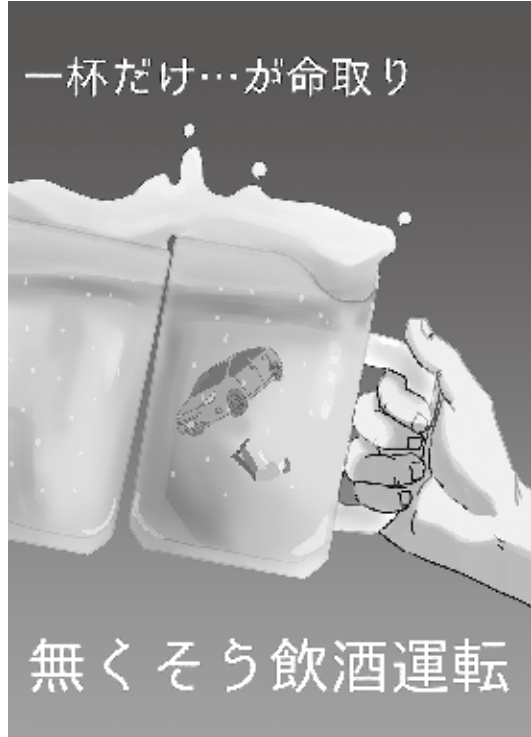
東京デザイン専門学校 高山 結さん
タイトル「酒に飲まれて人生水のアワ」



作品コンセプト…ビールの中に沈んでいくクルマを描き、「酒に飲まれた」状態で運転することの危険さを表現し、ただ一度の飲酒運転によって、自分自身の人生さえ台無し（水のアワ）になってしまふことをビールの泡から連想させるよう考えました。

《優秀賞》

東京デザイン専門学校 原 優風さん
タイトル「一杯だけ…が命取り」



作品コンセプト…「酒に溺れ死ぬ」をコンセプトに、飲酒運転の恐ろしさをブラックなユーモアに包んで作りました。一杯だけ…という軽い気持ちで一生涯をふいにしてしまう飲酒運転を軽く表現したくないと思い、少しトゲのある表現方法をとりました。



第 99回全国自動車会議所専務理事会が10月25、26日の両日、福島県で開催された。会議には、全国各自動車会議所から19名が出席し、日本自動車会議所より最近の事業活動や当面の主要課題に関する説明の後、意見交換が行われた。

会議は、日本自動車会議所の中島哲専務理事の挨拶より始まり、畠山太作常務理事が同会議所平成30年度上期の主な事業内容について総括的に報告した。続いて、抜本改革に向けた「勝負の年」を迎えている自動車税制に関する活動について、自動車税制改革フォーラムによる全国知事陳情活動の取り組み状

況、日本自動車会議所来年度税制改正要望書の概要を中心に説明が行われた。

次に、人材委員会の開催状況、交通安全活動として「交通安全。アクション2018 新宿」(4月)の実績報告と、11月17・18日に開催される「交通安全。アクション2018 お台場」実施計画のほか、交通安全啓発ポスターやデザインを一新したエコドライブ啓発ポスターの展開状況などが報告された。後半は、引き続き畠山常務より、昨年度一部返済が実現した自賠責保険料積立金に関連して、その返済の継続を求める「自賠制度を考える会」主催シンポジウム(9月)の結果概要、昨年度大幅改定を行った日本自動車会議所のHPの展開状況、「自動車保有関係手続のワンストップサービス(OSS)」の現状などについて説明があった。

最後に、次回の本専務理事会について、来年2月7・8日に神奈川県で開催されることが了承された。

その後、参加者間で、全国知事陳情活動における各都府県の調整状況を中心に質疑応答・意見交換が行われ、会議は終了となった。

ユーザーの税負担軽減を訴える「街頭活動」展開 北海道から九州・沖縄まで全都道府県で実施

JAF・自動車税制改革フォーラム「全国の知事への陳情活動」などとの相乗効果も

日 本自動車連盟(JAF)ははじめ自動車関係21団体で構成する「自動車税制改革フォーラム」は、10月初旬から自動車ユーザーの税負担軽減を訴える街頭活動=写真は10月25日、東京・JR田町駅前=を展開している。街頭活動は、大勢の人が集まる駅前をはじめ商業施設やイベント会場などでも行われ、今年も北海道から九州・沖縄まで全都道府県で実施。JAFを中心としたフォーラム団体のスタッフらがチラシやウエットティッシュなどを配布しながら、ドライバーや道行く人たちにユーザーの税負担軽減を訴えた。

フォーラムでは、生活必需品であるクルマに過重・複雑で不合理な税金が課せられているとして、かねてから政府・与党などに「自動車関係諸税の簡素化・負担軽減」を要望してきた。JAFのユーザーアンケートでも、依然として自動車に課せられている税金を負担と感じている自動車ユーザーが98%に



上ることから、今年度もユーザーと一緒に発信していく活動を継続する必要があるとして、引き続き全都道府県で街頭活動を行うことにしている。

また、「ユーザーの声を集める活動」、「全国の知事への陳情活動」も全国展開をしており、3つの活動の相乗効果により、12月中旬の税制改正大綱決定に向けて、フォーラムでは一層世論を喚起していくことにしている。

ディーゼル車を集中検査 強化月間の10月、石川PAで エコドライブの啓発活動も

東京都

東 京都環境局は10月5日、中央自動車道の石川パーキングエリア（PA）で、トラック、バスなどディーゼル車の車両検査を実施した。同時に、一般ドライバーに対して、環境に優しい運転「エコドライブ」をPRした。

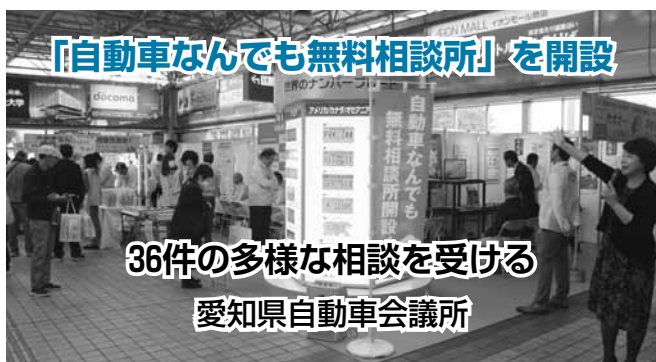
自動車排ガスによる大気汚染を改善するため、九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）が10月をディーゼル車対策強化月間と位置づけている活動の一環。粒子状物質の排出基準を満たさないディーゼル車をゼロにするための取り組みで、各自治体は強化月間中にそれぞれ集中的に車両検査を実施した。

都は調査員20人を動員して石川PAの上下線のそれぞれで、駐車しているディーゼル車を検査＝写真上＝。同時に、運転席にいる運転手に①ディーゼル車規制のチラシ、②大気環境配慮型SS（e→As）利用推奨チラシ、③アイドリング・ストップのパンフレット、④タオル——などが入ったPRグッズを手渡した。上り線165台、下り線90台の合計255台を検査。このうち運転手が不在の車を除く147台にPRグッズを配布し、ディーゼル車規制の周知活動を行った。



また、PA施設の前にエコドライブをPRする幟を立て、休憩に立ち寄る一般ドライバーに、各種チラシのほかに花の種、清涼菓子、ハンドタオルなどが入ったグッズを手渡ししながらエコドライブを呼びかけた＝写真下＝。同グッズは上下線合わせて330部を配布した。

1都3県の条例により、平成15年10月から排出規制不適合車の運行が禁止されて以来、年々違反車両が減少しており、都の同日の検査では調査車両のうち適合しているかどうか不明な車両は2台だけだった。
〔東京都自動車会議所〕



愛 知県自動車会議所は10月12日及び13日の2日間、名古屋市中区の金山総合駅コンコースにおいて、今年度で13回目となる「自動車なんでも無料相談所」を開設した。会場では愛知運輸支局等の行政機関や自動車関係16団体から派遣された相談員が36件の相談を受けた。相談内容は事故・保険関係、

検査登録手続き関係、運転免許・違反関係に関するものが上位を占めた。来場した約1,000名の方にアンケート調査へのご協力もいただいた。

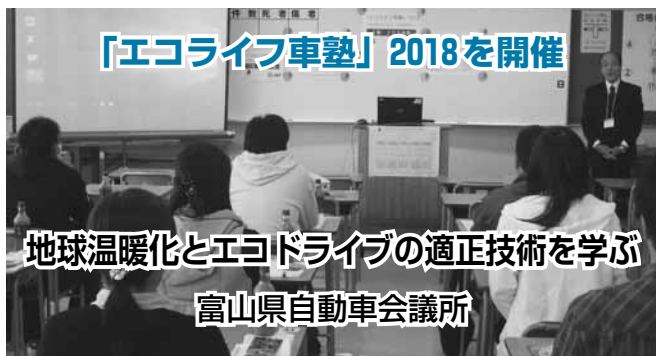
会場には、日本自動車会議所の協力を得て設置した敏捷性を測定する「クイックアーム」や、自動車事故対策機構からは運転適性診断に使用する「動体視力計」の体験、反射神経を判定する「クイックキャッチ」、来場者の顔写真を撮影して作成する「顔写真入り缶バッジ」のプレゼント等のコーナーを設け、いずれも好評だった。

その他にも、電動で回転する円筒形の展示パネル「世界のナンバープレート」の設置や、ラグビーやオリ・パラ等の特別仕様ナンバープレートに加えて、豊田・春日井の地方版図柄入りナンバープレートの見本を展示した。特にカラフルな地方版図柄ナ

ンバーに興味を示される方が多く、価格や申し込み方法に関する質問を受けた。

また、本年は自動車税制改正に向けて「勝負の年」ということもあり、自動車にかかる様々な税金の種類や仕組みを説明するパネルを掲出し、自動車ユーザーの重すぎる税負担の現状を訴えた。

さらに、中部運輸局が推進する観光プロジェクト「昇龍道」や、「サポカー」のブースを設置し広報活動に協力した。愛知県からも交通安全啓発グッズの配布が行われた。



富 山県自動車会議所は10月6日、11月3日の両日、富山市の富山県運転教育センターで「エコライフ車塾」2018を開催した。同塾は11月の「エコドライブ推進月間」に持続可能な社会を目指すために取り組む今年で10年目となる事業であり、地球温暖化の最大原因がCO₂（二酸化炭素）である現状の中で「エコドライブ」には明日への地球のために大きな可能性があるのとらえ、「エコドライブ」の具体的な実施方法やその効果・影響を自動車ユーザーが理解・修得することを目的としている。近年ガソリン代高騰が続いているが、エコドライブは誰もがすぐに取り組める、家計（エコノミー）にも環境（エコロジー）にも大きな効果の出る運転技術である。リーフレットやステッカーでエコドライブの必要性・重要性を理解するのみでなく、エコドライブの運転技術を当塾でしっかりと修得し、日々の生活での定着へとつながる「エコドライブの実体感」をキャッチコピーに開塾した。

日本自動車連盟（JAF）富山支部の協力（座学講師・インストラクター）のもと、富山県・富山県警察本部・北陸信越運輸局富山運輸支局が後援した。当所のホームページをはじめ、「エコドライブとやま推進協議会」の会長を当所桑名博勝会長が務めることもあり、富山県のホームページにも参加塾生を募集し、さらに県内各市町村の広報にもプレスリリースを行った。参加者は、自動車ディーラー・一般

「秋の叙勲・褒章」

当会議所関係者多数が受章

桐花大綬章

今井 敬氏（元全日本交通安全協会会長）

旭日大綬章

渡辺 捷昭氏（元トヨタ自動車社長）

旭日重光章

南雲 忠信氏（元横浜ゴム会長兼CEO）

星野 良三氏（元当会議所副会長・

元全日本トラック協会会長）

平成30年秋の叙勲ならびに褒章で、日本自動車会議所の会員団体・企業関係から多くの方々が受章され、晴れの栄誉に輝かれた。

叙勲では、元全日本交通安全協会会長で、経済団体連合会会長、日本鉄鋼連盟会長など多数の公職を務められた今井敬氏が桐花大綬章を受章された。また、元トヨタ自動車社長、元日本自動車工業会副会長の渡辺捷昭氏が旭日大綬章、元横浜ゴム会長兼CEOで元日本ゴム工業会会長の南雲忠信氏が旭日重光章、元当会議所副会長で元全日本トラック協会会長の星野良三氏が同じく旭日重光章、元愛媛県自動車会議所会長で伊予鉄グループ会長の佐伯要氏が旭日中綬章、元NOK社長の鶴正登氏が同じく旭日中綬章、元日本塗料工業会会長の乃一稔氏が旭日双光章、元全国オートバイ協同組合連合会会長の吉田純一氏が旭日小綬章、元全国軽自動車協会連合会専務理事の宮寄拓郎氏が瑞宝中綬章をそれぞれ受章された。

褒章では、元トヨタ自動車副社長の新美篤志氏が藍綬褒章を受章された。

企業社員や経済同友会会員・関係団体職員、国家公務員などの34名。また、昨年参加した「地域・職場のリーダー」の3名がインストラクターとして加わる継続的なカリキュラムを採用した。カリキュラムの実施内容は以下のとおり。

1. 座学及び実地

◇一般塾生27名＝①地球温暖化防止に対する「座学」、②エコドライブ技術の走法、得られる効果

等の「座学」、③通常走行・エコドライブ走行の実地、計測、④走行後の燃費データの比較、検証(分析結果とその指導等をグループごとに地域・職場のリーダー・受講生よりアドバイス)

◇地域・職場のリーダー4名=①「通常運転走行」の見学・学習、②燃費計測機の使い方講習会・一般塾生への指導方法、指導チェックポイントの再認、③一般塾生練習走行(1周目)、地域・職場のリーダー・受講生による見本走行・レクチャー、④走行後の燃費データの比較、検証(分析結果とその指導等・グループごとにディスカッションタイム)、地域・職場のリーダー・受講生によるアドバイスサポート

2. 修了証の交付

◇「全課程およびエコドライブ指導員修学課程」修了証……4名

◇「全課程」修了証交付……27名

3. 結果

当日は、当会議所の竹橋和夫専務理事のあいさつを皮切りに、はじめに地球温暖化防止に対する「座学」を行い、その後、同センター1.5kmの運転免許試験コースで燃費計測装置を取り付けた車5台で通

常走行とエコドライブ走行を行い、各燃費を計測し、データの比較と分析・検証をグループごとでのディスカッション方式で行った。最後に竹橋専務理事より、成績優良者に修了証授与が行われた。

参加塾生全員の燃費改善が見られ、「地域・職場のリーダー」がインストラクターとして加わる当所オリジナルの継続的なカリキュラムの成果が出たと感じられる、大変に有意義な塾となった。

【結果】

・1ℓあたりの平均伸びkm数(改善km) ……3.1km/ℓ (27名)
・平均燃費改善率……21% (27名)
・改善率最高値……55.5%

訃 報

東京海上火災保険元社長
(当会議所会員元代表者)

樋口 公啓氏

東京海上火災保険(現東京海上日動火災保険)元社長の樋口公啓氏が10月16日、逝去された。82歳だった。

日本自動車会議所ホームページ 新着情報ランキング(2018.10/1 ~10/31) Google アナリティクスより

		主なCat. (カテゴリー) : ○イベント・行事 ▽人事 ☆災害		
Cat.	ページタイトル	ページビュー数	ページ別訪問数	
1	○ 全ト協、第50回全国トラックドライバー・コンテストを10/27開催 18/7/5	1504	1185	
2	○ 大阪文化芸術フェス・万博記念公園サーキットに新旧名車100台が集合 18/9/30	712	576	
3	自動車税制改革フォーラムとは	556	536	
4	原付二種免許、最短2日で警察庁が規制緩和 18/4/9	390	162	
5	○ 第253回会員研修会開催「アナリストが占う自動車産業の未来」 18/10/17	528	380	
6	警察庁、昨年の交通事故 自動ブレーキ普及で追突が目立って減少 18/2/16	436	396	
7	自動ブレーキ普及加速、昨年の装着率9割前後 18/2/22	378	313	
8	刊行物	327	263	
9	会員紹介	273	207	
10	整備專業工場、エーミング作業にお課題 18/4/26	239	213	
11	自動車用動力伝達技術研究組合(TRAMI)発足 18/5/16	207	149	
12	パナソニック、2021年度に向けた車載事業の中期戦略を発表 18/5/31	193	160	
13	国交省 2018年度自動車関係功労者大臣表彰 18/10/19	178	150	
14	運行管理推進ネットワークを設立 18/10/2	171	133	
15	日野自動車、ICTを活用したお客様向けサービスの提供開始 18/4/23	163	101	
16	○ JARI、第31回国際電気自動車シンポ・展示会「EVS31」18/9開催 17/10/23	162	110	
17	自動車税制が7,800万ユーザーの声を全国47都道府県知事に届けます 18/10/11	159	67	
18	国交省補正予算 U D タクシーに追加補助金、災害時協定が要件 18/1/30	135	98	
19	○ 体験型イベント「交通安全。アクションお台場」11月17日、18日に開催 18/10/17	131	88	
20	○ 日本クラシックカー協、10月にクラシックカー耐久レース 18/8/28	125	102	
21	自動車会議所ニュース2018年9月号を掲載 18/10/2	118	67	
22	「平成31年度税制改正に関する要望書」を取りまとめる自動車会議所 18/10/16	115	78	
23	▽ 全日本トラック協会会長が坂本克己氏に交代 18/6/30	115	83	
24	大阪府自家用自動車連合協会がアンケート、図柄入りナンバーに強い関心 18/2/13	107	104	
25	軽検協、OSSの利用率向上へ今週から啓発活動 18/5/5	97	86	
26	国交省、スペアタイヤ・ツールボックス点検義務化 18/7/31	96	88	
27	トヨタ、世界初市販車に電子ミラー 18/8/27	92	89	
28	軽量化の有力技術、進化するマルチマテリアル 18/5/11	92	84	
29	勢い衰えぬ国内SUV市場、5年で2倍の成長 18/4/9	91	79	
30	金型代金、実態は中企庁など部品メーカー調査へ 18/4/3	89	80	
計 (31番目以降も含む)		29,560	15,948	

家族で広げよう
交通安全

参加体験型イベント

交通安全。

アクション2018

お台場

【開催日時】平成30年11月17日(土)・18日(日) 両日とも11:00~16:00

【開催場所】東京都江東区青海1丁目 パレットタウン内「メガウェブ」

<アクセス> ・りんかい線「東京テレポート駅」方面から(徒歩約3分)
・ゆりかもめ「青海駅」方面から(駅直結)
・タイムズ ヴィーナスフォートパーキング・タイムズ パレットタウンパーキングから(徒歩約1分)

白バイや黄バイ等に
乗れるよ!

参加無料

交通安全を
ステージやブースで
学べます!

スタンプラリー等
イベントに参加して
景品をもらおう!

【主催】日本自動車会議所
【後援】国土交通省、警察庁、警視庁交通部、東京都、江東区教育委員会
【協賛】飲酒運転させないTOKYOキャンペーン推進委員会

デザイン：[日本自動車協会 交通安全ポスター
原画コンテスト応募作品]竹永 絵里さんの作品

【協力団体・企業】(順不同)
警視庁、警視庁東京湾岸警察署、東京都青少年・治安対策本部交通安全課、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本自動車体工業会、日本自動車タイヤ協会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合、日本中古自動車販売協会連合会、日本自動車整備振興会連合会、全日本トラック協会、全国通運連盟、日本バス協会、全国ハイヤー・タクシー連合会、全国自家用自動車協会、日本損害保険協会、全日本指定自動車教習所協会連合会、全国レンタカー協会、日本自動車リース協会連合会、全日本交通安全協会、日本自動車教育振興財団、日本二輪車普及安全協会、日本自動車運行管理協会、自動車用品小売業協会、日本自動車研究所、日本自動車連盟、全日本自動車産業労働組合連合会、独立行政法人 自動車事故対策機構、首都高速道路、首都圏道路厚生会、日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会、電動車いす安全普及協会、東京都トラック協会、東京都交通安全協会、道路交通情報通信システムセンター、東京都自動車会議所、日本盲導犬協会、NPO法人 全国盲導犬施設連合会、全国二輪車用品連合会、イーティエフ、NPO法人 高齢者安全運転支援研究会、広報企画、エフエム大阪、アムラックストヨタ、スペースグラフィック・エンタテインメント、ゆりかもめ、東京臨海高速鉄道

大門 ペソ 倶楽部

Vol. 30

風化せぬ想い

日刊自動車新聞社 取締役 高橋 康弘

今ならその死を防げたかもしれない。黄ばみがかったスクラップブックをめくりながら、ふと思った。

1987年10月。福島県内で発生した交通事故。22歳の女性が運転する乗用車が駐車中の大型ダンプカーに追突。女性は頭を強く打ち、死亡した。ブレーキを踏んだ形跡はなく、わき見運転をしていたらしい、というのが警察の見解だった。

亡くなった女性はテニス仲間。仕事を終え、練習に向かう途中の事故だった。私は彼女が来るはずだったコートで事故の一報を聞き、仲間たちと現場に走った。大破した乗用車の写真と、テニス仲間の集合写真から抜き出した彼女の顔写真を、翌朝の新聞に載せた。写真説明は「シートベルトは着用していた。乗用車は大破、大型ダンプは無傷」と書いていた。衝突被害軽減ブレーキなどという技術は、まったくない時代だった。

自動車業界において最も優先させるのは、どの時代においても安全をどう追求するかということに尽きるのだろう。自動車という存在は、多様な意味において人(の暮らし)を守(支え)ることにあると思っている。

今年6月、取材で出会った人たちと再会する機会を

得た。日本交通科学学会。医療、工学、行政などの研究者や実務担当者らを会員とする専門家の集まりだ。その年の総会を切り盛りする総会・講演会長を、工学と医学の専門家が交互に務めている。あまたある学会のなかでは珍しい運営方法だ。

テーマは「技術革新で交通社会の安全を」。今年の総会・講演会長を担った松井泰浩氏(交通安全環境研究所主席研究員)は「交通事故から人の命を救うには、医療、警察、工学など各分野の技術の結集が必要。人の命を考えると、やるべき課題は多い」と呼びかけていた。松井氏とは、東北地方での居酒屋でお話を伺って以来だが、素面でもほろ酔いでも、情熱は不変だった。

次回の総会・講演会長に就く益子邦洋氏とは、20年ぶりの再会だった。社会部の記者時代、『ひと』という欄に書かせていただいたことがある。益子氏は、救命救急医療の第一人者。出会った時は日本医科大学の助教授だった。ドクターヘリやドクターカーへの造詣も深い。

松井氏(工学)が事故を起こさない技術確立をテーマに掲げ、益子氏(医学)は事故が起きてしまった時、いかに命を救うかに挑んでいる。

両氏に関わる記事のスクラップもやや黄ばみ始めているが、何一つ、風化してはいない。

日本自動車会議所会員(平成30年11月10日現在)=団体会員88、順不同=

- | | | | |
|-----------------------|-------------------------|------------------------|-------------------|
| 一般社団法人 日本自動車工業会 | 公益社団法人 全国通運連盟 | 一般社団法人 日本陸送協会 | 一般社団法人 宮城県自動車会議所 |
| 一般社団法人 日本自動車部品工業会 | 公益社団法人 日本バス協会 | 一般社団法人 日本二輪車普及安全協会 | 一般財団法人 秋田県全自動車協会 |
| 一般社団法人 日本自動車車体工業会 | 一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会 | 一般財団法人 日本自動車研究所 | 山形県自動車団体連合会 |
| 一般社団法人 日本自動車タイヤ協会 | 一般社団法人 全国自家用自動車協会 | 一般社団法人 日本自動車機器器具工業会 | 一般財団法人 福島県自動車会議所 |
| 一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 | 一般社団法人 日本損害保険協会 | 一般財団法人 日本自動車査定協会 | 東京都自動車会議所 |
| いすゞ自動車販売店協会 | 石油連盟 | 一般財団法人 全日本交通安全協会 | 一般社団法人 神奈川県自動車会議所 |
| トヨタ自動車販売店協会 | 一般社団法人 全日本指定自動車教習所協会連合会 | 公益財団法人 日本自動車教育振興財団 | 一般社団法人 静岡県自動車会議所 |
| 日産自動車販売協会 | 一般社団法人 全国自動車標協協議会 | 一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会 | 一般社団法人 愛知県自動車会議所 |
| U D トラックス販売協会 | 一般財団法人 自動車検査登録情報協会 | 全日本自動車部品卸商協同組合 | 一般社団法人 岐阜県自動車会議所 |
| 日野自動車販売店協会 | 一般社団法人 全国レンタカー協会 | 特定非営利活動法人 ITS Japan | 一般社団法人 三重県自動車会議所 |
| 三菱自動車販売協会 | 一般社団法人 日本自動車リース協会連合会 | 公益社団法人 自動車技術会 | 一般社団法人 富山県自動車会議所 |
| 三菱ふそうトラック・バス販売協会 | 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 | 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター | 一般社団法人 石川県自動車会議所 |
| 全国スバル自動車販売協会 | 一般社団法人 自動車公正取引協議会 | 一般社団法人 自動車再資源化協力機構 | 一般社団法人 福井県自動車会議所 |
| ダイハツ自動車販売協会 | 全国自動車検査登録印紙売捌り協議会 | 一般社団法人 日本ガス協会 | 一般社団法人 大阪自動車会議所 |
| 全国マツダ販売店協会 | 一般財団法人 関東陸運振興センター | 一般社団法人 日本自動車運行管理協会 | 一般社団法人 徳島県自動車会議所 |
| スズキ自動車販売店協会 | 一般社団法人 東京都トラック協会 | 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会 | 一般社団法人 香川県自動車会議所 |
| ホンダ自動車販売店協会 | 一般社団法人 神奈川県トラック協会 | 一般社団法人 自動車用品小売業協会 | 愛媛県自動車会議所 |
| 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会 | 一般社団法人 日本ゴム工業会 | 一般社団法人 日本オートオークション協議会 | 一般社団法人 徳島県自動車会議所 |
| 日本自動車輸入組合 | 一般社団法人 日本塗料工業会 | 日本中古車輸出業協同組合 | 一般社団法人 香川県自動車会議所 |
| 一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会 | 一般社団法人 日本硝子協会 | 全国オートバイ協同組合連合会 | 愛媛県自動車会議所 |
| 一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会 | 日本自動車車体整備協同組合連合会 | 日中投資促進機構 | 一般財団法人 大分県自動車会議所 |
| 一般社団法人 日本自動車機械工具協会 | 一般社団法人 日本交通科学学会 | 一般社団法人 青森県自動車団体連合会 | |
| 公益社団法人 全日本トラック協会 | | 一般社団法人 岩手県自動車会議所 | |

(ほかに企業会員77、推薦会員6)